※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　デザイン科

教科	工業	科目	デザイン実習Ⅰ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単にデザインソフトの使い方を習得するだけでなく、造形展開の考え方やデザインに関する様々な知識や方法を学びます。手作業と PC 作業を連係してアイデア展開から仕上げまでの DTP 作業の流れを経験し、幅広く応用できる技術を身につけることが目標です。PC での仕上がりをイメージして手描き課題に取り組むため、計画的に取り組むことが求められます。

２　学習の到達目標

・デザインの持つ社会的な意義や役割を、人と技術のかかわりを踏まえて理解し、関連する技術を身につける。
・自ら課題を発見し、科学的な根拠に基づいたデザインにより問題解決する力を培う。
・広い視野を持つことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的にデザイン技術の向上に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインに関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。 他者に配慮し、実際のデザインワークを合理的に計画し、その成果を的確に表現している。 現代社会におけるデザインの目的・意義や役割を理解している。	デザインの目的・意義や役割について、広い視野で自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。	デザインの目的・意義や役割について興味・関心を持ち、実際のデザインワークを通して技術の習得に積極的に取り組む、創造的・実践的・協同的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	アドビイラストレーターの基本操作	・PC の基本操作 ・アドビイラストレーターの基本操作	a: イラストレーターの基礎的・基本的な使い方を身に付け、合理的に計画し、表現することができている。 b: 表現方法の違いによって、それを見る人に与える影響も変わることを理解し、目的に応じて表現することができている。 c: イラストレーターでの描画の仕組みや表現方法に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
2	作品制作	・ポスター制作 ・ピクトグラムのデザイン	a: 画材やイラストレーターの基礎的・基本的な使い方を身に付け、合理的に計画し、表現することができている。デザインの目的・意義や役割を理解している。 b:表現方法の違いによって、それを見る人に与える影響も変わることを理解し、目的に応じて表現することができている。 c: 表現方法に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
3	作品制作	・本の表紙デザイン	a: 画材やイラストレーターの基礎的・基本的な使い方を身に付け、合理的に計画し、表現することができている。デザインの目的・意義や役割を理解している。 b:表現方法の違いによって、それを見る人に与える影響も変わることを理解し、目的に応じて表現することができている。 c: 表現方法に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度